

暮らしやすいまちづくりの計画

第3期

瀬谷区地域福祉保健計画

～みんなで作るみんなのしあわせ～

地区別計画

平成29年度



かわら版

地区別計画は、区内12地区を単位として、地区の特性・資源・課題に応じて、地区の方々が策定し、取り組んでいる計画です。

計画に沿って地域では福祉保健に関する様々な活動を行っています。

活動の一部を「かわら版」としてまとめました。

ぜひ、ご覧ください。

平成29年11月11日

誰もが見守り合い、支え合える地域へ ～阿久和北部地区のまちづくり～



公園に広い縁側を一体化した拠点
「みまもり広場」・「みまもりの家」

阿久和北部地区では**住民相互が見守り合う地域づくり**をめざし、平成 23 年に見守り合い実行委員会を立ち上げました。見守り合いを進める中で、拠点の必要性が浮かび上がり、「みまもりの家」建設に至りました。前例のない拠点づくり。大変な労力を要しましたが、多くの住民の協力を経て平成 25 年に完成しました。

「そこに行けば誰かがいる」をコンセプトにしたみまもりの家は、今では地域になくてはならない居場所です。

昨年からは**子ども食堂**もスタートしました。隔月に見守り市と合わせて開催しています。どんな子どもも分け隔てなく、同じように食事をとることが出来ます。定例開催なので、最近子どもたちも開催日を覚えて、お友達みんなで行ってきます。若い保護者の情報交換の場や一人暮らし高齢者のお出掛け先にもなりつつあり、多くのつながりが生まれています。

今年から、地元の小学生を対象にして、学習支援も始めました。毎月第二火曜日にみまもりの家で開催しています。地域の人に気軽に勉強を教えてもらえる時間です。



みまもりの家の取り組み ～平成 28 年度の利用状況

毎日顔あわせ体操	16,000名
ゲームの日（健康麻雀の日）	1,336名
歌おう広場	520名
もりもり体操	260名
子どもの遊びの日	300名
見守り市	1,200名
お笑いライブ	250名
子ども食堂 カレーパーティー	1,000名
一般利用	3,256名
団体利用	54団体 1,013名
当番	1,071名

※延べ利用者数（概算）

総利用者数
約26,200名



みまもりの家のこれから



買い物支援から見守りに 見守り合い実行委員会 新たな挑戦

阿久和北部には、みまもりの家建設当時から買い物に不便しているという住民の声がありました。商店が少ないなどの理由から買物が不便であるという地域の声を形にすべく、**見守り合い実行委員会**が中心となり、検討を進めています。（10月末までの開催数：見守り合い実行委員会 5回、うち、せやの地域づくり塾 4回を含む）

こんなふうに進めています！ ～平成29年度の取り組み～

- ～8月 ・買い物支援についての話し合い。
現状をさらに詳しく把握できる様、**全世帯アンケート**を取ることに決定。
- 9月 ・アンケート項目、集計方法の検討。
・見守り市にて**移動販売車**に来てもらい、試行販売。
・連合代表者会で各自治会を通じてアンケート配付。
- 10月 ・アンケート集計
- 11月 ・見守り合いのつどいにて**アンケートの結果報告**



8～9月

皆で意見を出し合って、アンケートの内容を検討。意義を再共有する機会になりました。



9月

移動販売車の試行販売では大勢の人がやってきました。初めての移動販売車に、皆さんの話も弾みました。

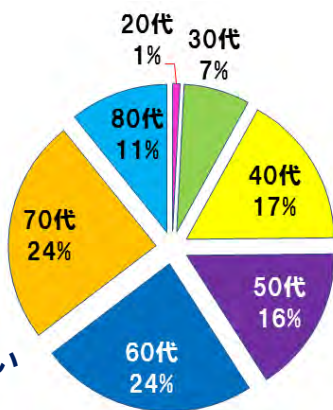
速報！ 買い物についての 全世帯アンケート結果

◆回収率(3,424世帯中)

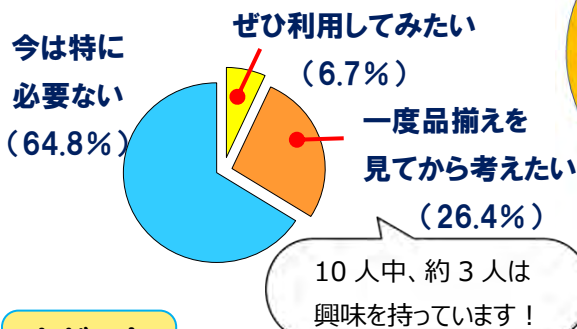
なんと半数を超える世帯が回答！



◆回答者の年代



◆移動スーパーへの関心率
※有効回答の割合のみ表記



ただいま準備中！

来年4月から本格的に実施予定です！

今は必要ありませんが、近い将来利用することになるかもしれません。

スーパーまでの距離が遠いので助かります。

生まれたばかりの子どもを、抱っこをしての買物が大変です。移動スーパーがあるとありがたいです。

移動スーパーがきて、地域の方と定期的に会えるのは魅力的です。



地域からたくさんのコメントがありました（一部抜粋）

将来のことを考えた時や、高齢者にとっては大切なサービスだと思います。

新鮮な食材は移動スーパーが利用できるとうれしいですね。

先日の試行販売で牛乳とバナナを買いました。美味しかったです！

移動販売以外の解決方法も検討する余地がありそうではないでしょうか。

阿久和南部地区

かわら版



いつまでも住み続けたいふるさとまちづくり



阿久和南部地区は、第3期瀬谷区地域福祉保健計画に基づき、地域福祉の推進を図ることを目的として活動しています。

《第3期地域福祉保健計画》

〈目標〉 いつまでも住み続けたいふるさとまちづくり

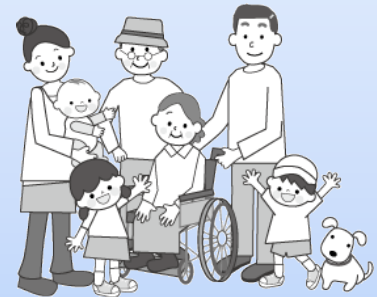
スローガン ~みんなで創ろう なんぶ・あくわの 和! 輪! 笑! ~

♥地域交流でふるさとづくりの和!

♥地域で見守る高齢者・障害児者との

あたたかい輪!

♥地域で育む子ども・子育て世帯の笑!



…を合言葉に、地域住民の福祉向上を支援する事業の拡充や推進をはかっていきます。

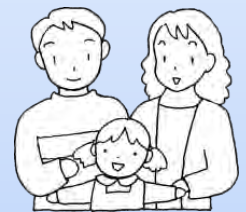
【主な事業と取り組み】

○地域交流活動

- 南部のつどいを開催しています。
- 社明運動・南部祭り・大運動会・どんど焼き・防災訓練を行っています。
- ソフトボール大会・カローリング大会・ウォークラリー・麻雀交流会を開催しています。
- 阿久和地区センターまつりに参加し連携をしています。
- 地域福祉・交流拠点運営委員会[ぼかぼかプラザ]に協力しています。

○高齢者・障害者支援

- 阿久和南部地区内で活動する高齢者サロンを応援しています。
- 見守り事業を展開しています。
- 敬老会を開催しています。
- 障害児者・支援者ネットワーク会議を開催しています。



○子育て支援

- 子どもフェスティバル・出張子育てサロン・美化運動お掃除隊を開催しています。
- 地域福祉・交流拠点[ぼかぼかプラザ]で学習支援を行っています。
- 小中学生への放課後余暇事業「笑! 和! 輪! クラブ」を月1回開催しています。

【広報・調査研究】

○広報誌の発行 (年1回)

阿久和南部連合・地区社協・地域福祉情報や活動内容を載せた広報誌を発行しています。

○調査研究活動

地域福祉の向上のための調査研究を行い、関係団体に提案しています。

◆阿久和南部地区の様々な取り組み◆

小・中学生放課後支援
笑！和！輪！クラブ



阿久和南部地域福祉交流拠点
ぽかぽかプラザ学習支援



防災グッズ
あくわなんぶスマイルくん



地域・障害者施設合同防災訓練
(原小防災拠点・阿久和小防災拠点)



敬老会
連合・地区社協共催



障害児者・支援者ネットワーク会議



南部まつり



社会を明るくする運動



～阿久和南部地区の発展に寄与していきます～

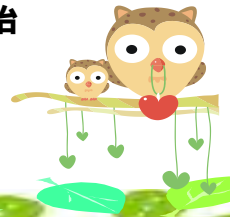
住みよい まちだより

発行日：平成29年 5月23日

発行者：三ツ境地区住みよいまちづくり推進委員会

発行責任者：会長 諸橋 政治

7号



いよいよ立ち上げます

三ツ境サポーターズ

少子高齢・人口減少時代を迎え、“お互いが寄り添い、支え合いながら元気に暮らしていける地域づくり”が強く求められています。『みんなで幸せに長生きをする ～集い 寄り添い 住みよい 三ツ境まちづくり～』の実現を目指して、ひとりでも多くの人が積極的に地域活動に係わり、顔見知りの輪を広げていけるよう地域密着型ボランティア組織「三ツ境サポーターズ」を立ち上げます。

そこで、まず活動候補者を募り、活躍の場や情報を提供、積極的な活動を通じて将来に向けた地域を担う人材の発掘・育成につなげて行きます。

各自治会で下記のアンケートが配布されます。

ぜひ、協力してください！



●今後のスケジュール●

5月上旬	住みよいまちづくり推進委員会にて、各自治会長へ説明、アンケート配布
7・8月	アンケートの回収・集計
9月下旬	連合自治会定例会にてアンケート結果案内 今後の活動計画について説明
10・11月	サポーターズ賛同者に対する説明会開催

三ツ境地区 サポーターズ アンケート

■自治会名： _____ 班 連絡先電話番号： _____

■(1)お名前 _____ 男・女 年代： 代

■(2)お名前 _____ 男・女 年代： 代

■(3)お名前 _____ 男・女 年代： 代

※このアンケートにより得た個人情報は、適正に管理し、運営管理課で「地区社会福祉協議会」の活動のみ使用します。

ご家族のなかで、ちよつとしたお手伝いやできることがありましたら、ごなだでも、何人でもご記入ください。



◆下記の項目のうち少し手を貸せそうな項目があれば○印(いくつでも)をお付けください。 敬請ご意見ください。

◆下記の「できる・やってみたい」の(1)(2)(3)の欄は上記にご記入いただいた方のそれぞれの回答欄です。

活動内容	できる・やってみたい			活動内容	できる・やってみたい		
	(1)の方	(2)の方	(3)の方		(1)の方	(2)の方	(3)の方
イベントのお手伝い				室内片付け・そうじ			
横断店の出店・お手伝い				買い物代行			
チラシ・広報紙の作成のお手伝い				ゴミ出し			
パソコンでの入力や資料印刷のお手伝い				庭の草取り・落ち葉掃き			
サロン・お茶会のお手伝い(朝・昼・夕方)				室内や屋外の簡単な修理			
調理のお手伝い(例：高齢者食事会)				障子・網戸張替			
高齢者の見守り・声掛け等				蛍光灯・電球の交換			
地域安全パトロール・防犯活動等のお手伝い							
小学生の下校時見守り				項目には該当しなかったが、「何かお手伝いをしたい」			
防災活動のお手伝い							
うどん打ち・そば打ち				★他にお手伝いや特技を生かせることが ありましたら自由に記載ください。			
手芸・縫製				(1)の方			
絵画・書道				(2)の方			
音楽や歌・楽器演奏 (楽名：)				(3)の方			
絵本の読み聞かせ							
麻雀のお相手							
囲碁・将棋のお相手							
写真撮影							
外国語の活用(外国語・日本語が教えられる)							
運動(スポーツ：) _____)を教えられる							

ご協力ありがとうございました！！
アンケートの提出先： 班長さんまで
平成29年 月 日までお届けください。

みんなで幸せに長生きをするために

「集い 寄り添い 住みよい三ツ境 まちづくり」に向けて、

「三ツ境地区第3期地域福祉保健計画」が進んでいます。

究極の目的 みんなで幸せに長生きをする

～集い 寄り添い 住みよい三ツ境 まちづくり～

そのために



たくさんの方が地域行事や活動に
積極参加する環境を作る



それにより

お互いの顔が見える関係と
柔らかで温かい連帯・絆を作る

平成28年度は以下のような“しあわせづくり活動”を実施しました

■参加したくなるイベント行事を目指して、各自治会主催行事のたな卸しをしました。

昨年2月に実施した各自治会主催行事調査結果を「三ツ境地区自治会町内会主催定例行事イベント一覧」としてまとめ、4月度の連合自治会定例会において各自治会に配布しました。

■諸団体主催行事の情報交換会を開催し、団体相互の理解促進を図りました。

6月と11月の2回にわたり「三ツ境地区関連諸団体の情報交換会」を開催。それぞれの会の活動主旨や行事概要を発表。質疑応答により相互理解を深めました。

■社会的課題に対応するための各自治会体制の検討を始めました。

少子高齢化、人口減少、災害リスクの増大等、社会的課題を見据えた自治会規約や役員体制の見直し、制度検討を開始。今後とも各自治会の実情を踏まえながら取り組みます。

■推進委員相互の啓発活動として、社会的弱者への理解を深める研修を進めました。

障がい者理解のための専門家による講演会を5月に開催。10月にはせや活動ホーム「太陽」の見学会を実施し、障がい者や施設に関する理解促進を図りました。

■その他、従来からの継続活動として以下の事業を推進中です。

- ・「見守り・支え合いカード」「緊急カード」「冷蔵庫用保管容器」の継続配布
- ・高齢者世帯に防災グッズ「三ツ境ネットくん」を継続配布
- ・住みよいまちづくり活動広報紙「住みよいまちだより」第5号・第6号の発行
- ・地域イベント会場における「住みよいまちづくりパネル」の掲示・告知 他

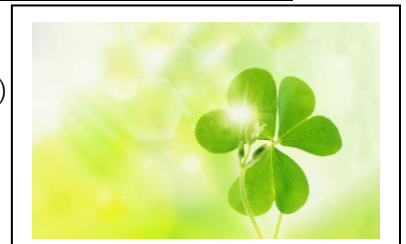
平成29年度には次のような“しあわせづくり活動”を計画しています

新規項目

- ・「三ツ境地区サポーターズ」の立上げ（1面記事を参照ください）

平成28年度より継続

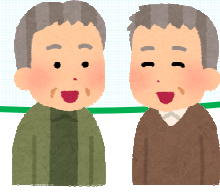
- ・社会的課題に対応するための各自治会体制の検討
- ・障がい者等社会的弱者への理解促進 他



※これらの項目を積極的に推進していくために、三ツ境連合自治会の全ての自治会長に新年度より「住みよいまちづくり推進委員会」に委員として参加してもらうこととします。



瀬谷第一地区 第3期地域福祉保健計画の推進 かわら版



私たちが掲げている四つの目標

私たちの瀬谷第一地区は、第3期地域福祉保健計画の地区目標として以下の四つを掲げて活動を進めています。前年の中で行った地域活動協力アンケートは、地域活動に新しい風を呼び起こすことになりました。そこで知り合った人に太極拳の講師をお願いし、社明の地域の集いで参加者みんなで太極拳体操を行いました。また、外国語の堪能な人には防災拠点で通訳のお仕事を引き受けて頂いたりしています。

これは3つ目の目標の、地域から友達作り、仲間づくり、担い手づくりの活動の一環でもありました。

旧来の活動領域だけでなく、広く視野を拡げ幅広い活動にそれぞれの人の持っている技能や特技を活かし、地域のために発揮できるようにしてゆきたいと考えています。

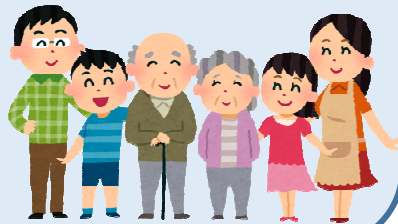
そのように、以下の四つの目標にそれぞれ違った取り組みがあり、これを日々検討し、具体化を進めてゆきます。

1. 健康長寿をともに喜び 合える地域にしてゆこう

現在、裏面に紹介しているふくわ会の定例会やふれあいサロンを行っています。

また屋外の催しでは瀬谷四丁目公園での健康体操やシニアクラブ主催のグランドゴルフが活発に行われています。

でも、私たちがめざしているのはさらに高い峰です。お年寄りの人がもっとふれあいや充実感を感じられるような地域にしたいと考えています。



2. 地域から幅広い見守り 活動と支援を推し進めよう

瀬谷第一地区のWAT運動は、平成20年6月に産声をあげました。以来、“さりげない見守り”は運動の代名詞となりました。

しかし近年、担い手の高齢化などの中で停滞感も生まれ、新しい進め方を考えるようになりました。安心キット（救急医療情報キット）の配付もその一つです。

見守りの仕方も“さりげない見守り”一辺倒ではなく、親身になった幅広い見守りに変わろうとしています。



3. 地域から友達づくり、 仲間づくり、担い手づく りを拡げよう

下の写真は、6月25日に開催した社明集会の模様です。新しい人の協力を得て、“地域の集い”を持つことが出来ま

した。その後も定期的に趣味特技の懇談会を開催し、夫々の持ち味が地域の中で発揮できるように話し合っています。



参加者みんなで太極拳を学ぶ

4. 住民の要望を行政に働 きかけて、活力の生れる 地域として行こう

瀬谷第一地区のある瀬谷駅前周辺では、南口の再開発計画やまた北口の商業施設の建設、また旧上瀬谷通信基地の跡地利用など、住民に直結した課題があります。

住民の意向を把握しながら、必要な対応をとってゆきます。



今年度は、安心キットの普及活動に力を入れながら 見守りのWAT運動を進めています

【以下の書面は本年7月に瀬谷第一地区全体で町内会ごとに全戸配布したチラシの縮小版です】

こんにちは！ 私たちはWATです 1人暮らしのお年寄り等の “見守り活動”を行っています

**WATは以下の団体が
協力して、活動しています**

瀬谷第一地区の各町内会・自治会
瀬谷第一地区社会福祉協議会
民生委員・児童委員
シニアクラブ 保健活動推進員
友愛活動員



こんにちは。WATという団体を、ご存知ですか？
WATとは愛称ですが、電気のWATをもっています。
暗がりを照らす電気の明かり（WAT）のような存在でありたいという事から、“WAT”と名付けました。
でも実は、下に表している意味あいも込めています。
地域に住む一人暮らしのお年寄りが独りぼっちにならないように、時には声を掛けて世間話も出来るように、
また本人から希望があれば訪問してお話を聞くなど、暖かい見守りを心掛けている私たちです。
何か心配事や不安がある時には、気兼ねなく私たちにお声がけください。
瀬谷第一地区が住みやすい地域であるように、気持ちを通いあう街に一緒にしてゆきましょう。

WAT(ワット)

W = Watching

(注意深い見守り)

A = Action(行動する)

T = Teamの略

(チーム(仲間))

地域には、みんなで集まる催しが沢山あります。気軽にご参加ください



ふくわ会

毎月1回第二水曜日
13:30～開催
地域の高齢者の
交流の場となっています。
開催場所：
瀬谷四丁目町内会館

あじさい会

奇数月の第四水曜日に
11:30～開催の食事会。
お一人暮らしの高齢者の
憩いの場です。
会費：200円(1回)
開催場所：
瀬谷四丁目町内会館

ふれあいサロン

毎月の第三水曜日に
10:00～開催(無料)
気軽に茶飲み話が出来たり、
映画の上映をしています。
開催場所：
本郷第四ふれあい会館

参加申込みや
問い合わせ

瀬谷第一地区社会福祉協議会 水村 明 080-5182-4042
瀬谷第一地区民生委員・児童委員 川崎洋子 090-3331-3821



“安心キット”
自宅の冷蔵庫に
一つ用意しましょう

希望者に無料で
お届けしています

通称、“安心キット”と呼んでいます。
正式には、救急医療情報キットと言います。
昨年度から、一人暮らしの高齢者の方を中心に
無料で普及を進めています。
普段は、必要情報を記入した用紙をこのキットに収めて、
冷蔵庫に入れておくだけです。
もし、ご自身の気分が悪くなったり、倒れたりした時に
駆けつけた救急隊員がその内容を見て、適切に対処して
救急に役立てようというものです。
今からでもまだ遅くはありません。
右に記載の誰でも構いませんので、
連絡を頂ければ、お届けします。
地域のつながりに頼ってください。



平成29年度【保存版】

ご高齢者等の見守り運動に
ご協力ください

『新聞や郵便物でポストがあふれている』、『家の電気がつきっぱなし』、
『洗濯物が干しっぱなし』など、ご近所にご心配なことがありましたら、
下記の者まで、ご相談・ご連絡ください。

シンボルマークのワットくん



65ワットぐらゐの

さりげない見守り

瀬谷第一地区社会福祉協議会
瀬谷第一地区連合町内会

WAT地域ブロック委員の紹介
(瀬谷四丁目町内会 第二地域ブロック委員)

所属	委員名	電話番号
全体責任者	大江 方人	☎ 301-3447
民生・児童委員 代表	川崎 洋子	☎ 302-2817
民生・児童委員	浅井 真知子	☎ 301-0926
社協ボランティア	藤田 隆夫	☎ 302-9844
社協ボランティア	能條 静子	☎ 301-3578
社協ボランティア	小林 キ工	☎ 301-0919
社協ボランティア	横山 富子	☎ 302-1683
社協ボランティア	有吉 美智子	☎090-9643-0758
保健活動推進員	五十嵐 和子	☎ 304-6941

本郷のかから版

発行 本郷地区連合自治会 本郷地区社会福祉協議会 編集責任者 上田三郎 吉村安江子

本郷地区は、2年次目を迎えた第3期地福計画の推進に向け、地区社協と地区連合自治会が一体となって活動しています。今年度は「より組織に、より計画的に」をモットーに4つの基本目標にもとづき様々な活動をしています。

【基本目標1】 みんながつどい楽しむ“ふれあい”の地域づくり

歌は人と人をつなぐ～第26回カラオケの集い盛大に開催されました。

3月26日（日）、農協瀬谷支店2階で本郷地区シニアクラブ主催（本郷地区社会福祉協議会協賛）の第26回カラオケの集いが過去最高の165名の参加を得て開催されました。

第1, 2, 3, 5, コスモの各親和会、やよい会、さつき会の代表など31の演目の中で、日ごろの練習の成果を発揮した歌の熱唱とともに、オカリナ演奏もあり、大変盛り上がりました。



過去最高 165名の皆様が楽しみました

【基本目標2】 ともにつながり支え合う“安心”の地域づくりから

東日本大震災から6年… 3月12日に地域防災拠点避難訓練が行われました

本郷地区では東日本大震災の教訓を踏まえて、2012年から、毎年初期段階の避難所開設訓練を行ってきました。

今年度は2月4日（土）に第1回大門小学校地域防災拠点運営委員会・活動班合同会議を開催し、昨年度の反省を踏まえて今年度の計画を立て、3月12日（日）9時30分から地域防災拠点避難訓練を実施しました。参加者総数は280名でした。



①避難所受付



②簡易担架の作り方



③消火用水の給水方法説明



④ペット避難テントの設置



⑤非常用公衆電話体験



⑥給水栓の説明



⑦更衣室・段ボールベンチ設置



⑧三角巾の結び方

【基本目標3】 すこやかに育つ力を育む“希望”の地域づくりから

第67回社会を明るくする運動本郷地区集会を開催!!

7月1日(土)10時から大門小学校体育館で、犯罪や非行を防止し、立ち直りを目指した「第67回社会を明るくする運動本郷地区集会」が子どもを含む118名の参加を得て開催されました。

テーマ 「スマートフォンに起因する問題とその解決方法」について話し合う

今回は小学生、中学生、小・中学生を持つ保護者、そして川合生活安全課長とともに、今いじめや犯罪被害等の問題になっているスマートフォンについてディスカッションしました。

はじめに大門小学校キッズクラブ 24名のヒップホップダンスがあり好評でした。続いて「スマートフォン(以下『スマホ』)による子どもの被害と問題」と題した瀬谷警察署生活安全課 川合課長からの基調講演(下参照)があり、その後、昨年度に引き続いて小・中学生が参加して「スマホに起因する問題とその解決方法」をテーマにしたパネルディスカッション(2面参照)が行われ大変有意義でした。



【パネルディスカッション参加者(敬称略)】

大門小6年 : 松本 侑里香、今井 凜、
藤原 梓帆
瀬谷中3年 : 木下 翼、渡辺 双葉
保護者 : 光明寺 則枝、佐久間 香織
瀬谷警察署 : 生活安全課長 川合 健



最後に、大門小学校の佐藤 峰子校長から「このような地区集会で小・中学生が参加しているのは初めてであり感動した。スマホについて保護者とともに考えていきたい。」と話があり、瀬谷中学校の工藤 祐嗣校長から「スマホについては生徒会とランチミーティングなどで自分が守れるよう使い方を考えている。生徒のケータイ、スマホは原則学校持ち込み禁止であるが、持ってきた場合は貴重品として担任の先生が預かっている。」と話がありました。

【基本目標4】 健康長寿の里を目指す“自立”の地域づくりから

本郷地区は健康長寿日本一を目指しています

歩数計をつけてレインボーウォーキングをしよう!!

かわら版第12号で本郷のレインボーコース約1時間もの7つのコースを紹介し、かわら版第14号で瀬谷区版レインボーコース2~3時間の7つのコースを紹介しましたが今回は本郷出発帰着の約1万歩コースを7つ紹介し、本郷地区8自治会が主催して、参加率を競い合うレインボーウォーキングを9月24日(日)から10月1日(日)(9/28が雨天のため10/1に実施)実施しました。参加者は220名に上りました。

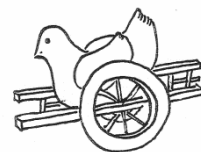
“健康長寿の里:本郷
85歳を元気で迎えよう”



参加率第一位は第七自治会・第二位は第三自治会・第三位はヒルズ本郷原自治会で10月8日本郷地区のレク大会の冒頭に表彰されました。第一自治会武田芳子様・第三自治会松井毅様・阿部ミドリ様・伊藤信之様・ヒルズ本郷原自治会中村繁子様の五名は7日間完歩して表彰されました。

りょうりん

発行:瀬谷北部地区別計画策定推進委員会
作成:瀬谷北部地区社会福祉協議会
瀬谷北部町内連合会



◎福祉大会

5月28日に第23回目を迎えることができ、中屋敷地区センター体育室において開催いたしました。今回の大会も地域の皆様のご好意で、舞踊、カラオケ、ギター弾き語り、社交ダンス等趣向をこらした演目で日頃の成果を披露していただきました。

対象者は77歳以上の方を招待して楽しいひとときを過ごしていただきました。



◎防災訓練



毎年9月に上瀬谷小学校校庭において、防災訓練を実施しております。

今年も大勢の方々に参加していただき、消火訓練、炊飯訓練、三角巾の使用訓練、最後に消防団員による放水訓練等を行い、無事終了いたしました。

炊飯訓練は、米30kgを炊事ユニットで炊き、おにぎり(400人分)にして参加者に配りました。

◎若宮八幡神社祭礼

毎年9月に若宮八幡宮の例大祭が盛大に行われております。

区内の各神社の代表の方がお祝いに来られ、氏子の無病息災と実りの多い年となりますように祈願いたしました。

地区社協では、おもてなしの料理と接待のお手伝いをいたしました。

なお、奉納演芸では、あいにくの雨の中、大勢の方々に参加していただきました。子供ばやし、カラオケ、舞踊、また、連合会で新調した半天を着て花笠音頭の踊りを披露していただきました。



◎ふれあい食事会

9月24日に中屋敷地区センターの体育室で行いました。地区社協むつみ会の方が手作り弁当を140食作り、参加者とお手伝いの方々と地域交流をしながら昼食をいただきました。

また、食後にはビンゴゲーム等で楽しいひとときを過ごすことができました。

各町内会役員の方に会場準備、参加者の送迎のお手伝いをしていただき、町内連合会と地区社協はお互いに協力し合い活動しております。



◎地域の見守り、防災事業

瀬谷北部地区では、境川に沿って南北に細長い地域であります。避難場所も上瀬谷小学校となっており、高齢者や体の不自由な方にとっては遠い場所でもあります。従って安心して暮らせる地域を作るためにも、防災グッズを配布し、同時に顔見知りになり、日頃の見守りを行っております。

今年は水の交換をしました。180世帯に配布し、年1回の中身の交換をしております。



瀬谷第二地区 みんなの幸せプラン

目指すまちの姿

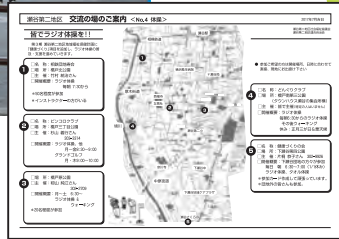
誰もが健康で安全に安心して、心豊かに暮らせるまち

第2期地域福祉保健計画の6つのテーマに、「1.健康づくり」を加え、7つのテーマで推進しています。従来の6つのテーマは、継続発展を目指して推進しています。



ラジオ体操

体操マップ



1.健康づくり

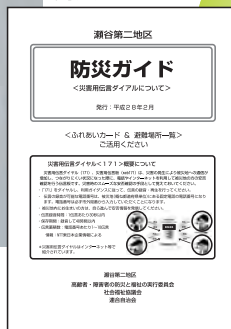
目指す姿：皆さんが健康で、長寿を迎えられるまち

- 健康食事の推進
- ラジオ体操の普及、体操実施グループの育成・支援
- ラジオ体操のマップ作成
- ウォーキングの推進
- 禁煙運動の実施



防災グッズ

防災ガイド



2.災害対策の向上

目指す姿：防災意識が共有できているまち

- 顔の見える関係作りから、災害時の助け合いへ
- 「高齢者と障害者の防災と福祉の実行委員会」の支援継続
- 防災グッズ、防災ガイド、ふれあいカード
- 防災訓練、水防訓練、防災拠点の活動



安心散歩の日



3.まちの安全を守る活動

目指す姿：誰もが安心して散歩できるまち

- 安心散歩みち推進事業
- 防犯・防災の視点で危険箇所をチェック
- 防犯パトロールの実施

4. 地域活動への参加拡充

目指す姿：皆さんが自治会町内会会員として共に活動に参加するまち

- 自治会未加入者への自治会・町内会の加入促進
- 各世代が集まれる場や機会作り：サロン、ゲートボール等
- 「人と地球にやさしくをみんなで考える集い」
- 「交流の場」の情報提供拡大



人と地球にやさしくを
みんなで考える集い

いきいき瀬谷っ子

5. 子ども・青少年の 見守り・と支援

目指す姿：子どもたちが夢と希望を持ち健やかに育つまち

- 子育て交流会：民生・児童委員会にて年6回開催
- いきいき瀬谷っ子：夏・秋年2回開催。
- 学援隊：登下校の見守り
- ふるさと祭り：瀬谷っ子ソーラン、模擬店 他



ふるさと祭り



子育て交流会

6. 高齢者・障害者への 見守りと支援

目指す姿：高齢者・障害者が安心して暮らせるまち

- 福祉大会「ゆずり葉の集い」の開催
- 地域サロン主催者交流会の開催
- 配食サービス<ひまわり会>
- 人と地球にやさしく／障害者への理解を深める研修 他



ゆずり葉の集い
77歳以上のご長寿者をご招待し、秋の一日を楽しんでいただく



サロン活動

7. ボランティア活動の拡充

目指す姿：地区内でボランティア活動が活発に行われているまち

- ボランティア活動の推進体制の検討、立ち上げ
- ボランティア活動の拠点の検討
- 区社協、地域ケアプラザとの連携
- 配食サービス 他



配食サービス

週1回の昼食をお届け

広報誌【ゆずり葉】



細谷戸地区 かわら版

細谷戸地区社会福祉協議会

「心が通じる地域づくり・地域は家族」

地域福祉保健計画も第3期目です。第3期目でも、第1・2期計画の活動を踏襲し、活動の輪を広げていきます。

ビーハイブ活動の推進

- 自治会単位での高齢者見守り活動（2～3回/年）
- 安心キットの配付、見守りパトロール（定期訪問活動）
- 命の笛の配付
- 高齢者を対象とした、はつらつクラブ（転倒予防体操）《毎週火曜日》やラジオ体操《毎週土曜日》
- お助けパートナー（高齢者世帯への軽作業の手伝い）
- 高齢者定期訪問（地区社協、地区民児協による）
- サロン細谷戸《月1回》
- 子育てお母さんのつどい《月1回》
- 各種研修会への参加・研修会の実施



見守りパトロール出発前ミーティング



大人・子どもたちとのカレーパーティー

地域内の子供育成対策

- 子供を対象とするスポーツレクリエーションとカレーパーティーを実施。
- 子供たちをあつめ、鯉のぼりを制作。
- 落ち葉を集めて、焼きいも大会を実施。

障害のある方の把握と支援対策

- 障害者・一人暮らし高齢者との昼食会を実施し、実態の把握と、地域との繋がりを深めています。
- 地区民生委員とともに、相談ごと、困りごと等の話を聞き、関係機関等との連携を図っています。



地域の子どもたちとの交流会スポーツレクリエーション

— 研修会の実施 —

『エンディングノートの活用』

■7月19日 10:00~11:30

中屋敷ケアプラザの協力により、エンディングノートの活用講座を開催しました。

参加者は、32名でした。

最新の情報を聞けて、反響は大きいものでした。

『認知症の理解について』

■10月5日 10:00~11:30

認知症の研修を せやクリニック 川口 千佳子先生をお招きし、開催しました。

当日は、65名の参加があり、認知症への関心の深さを実感しました。



認知症の研修会
熱心に講習をうけました。



エンディングノートの活用講座



チームパパーナによる
フラダンスの模様



東野太極拳の会のみなさまによる
太極拳の演舞

敬老祝賀会の実施

■9月18日 敬老の日

敬老祝賀会を催しました。細谷戸地区には、716名の高齢者がお住まいです。

地元出身の津軽三味線奏者 小山 憲斗さんによる三味線の演奏、フラダンス、太極拳の演舞等楽しいひと時を過ごしました。

◆ 命の笛（ストームホイッスル）の配付

私達がピーハイブ活動で最も必要と考えていた、「何か起きた時、誰かに知らせる」この大切なことが、この「命の笛」を配付することで目的の一部が達成されます。軽く吹くだけで大きな音が出る、病気で倒れた時だけではなく、災害の際にも役に立ちます。



命の笛（ストームホイッスル）

瀬谷第四地区社会福祉協議会

◆瀬谷第四地区の地域活動について◆

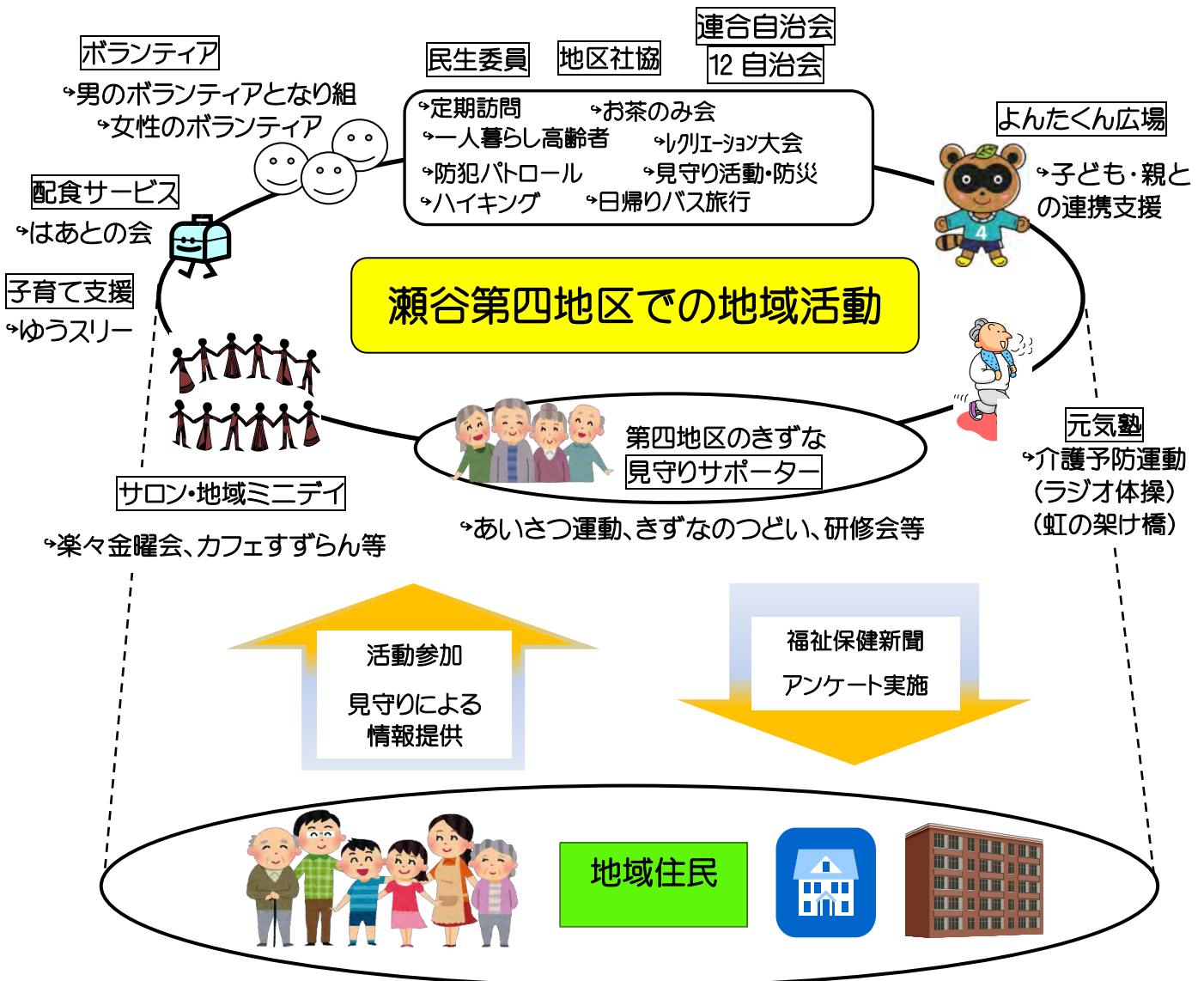
瀬谷第四地区では、あいさつによる顔の見える関係づくりから日常の見守りと防災の連携までを行う「第四地区のきずな」をはじめ、様々な活動を進めてきました。

平成28年から第四地区マスコットキャラクター「よんたくん」が誕生し、障害者支援・子ども支援・高齢者支援の活動が始まりました。



地域福祉保健計画拡大実行委員会
(地区における福祉保健活動の企画)

地区社会福祉協議会役員、福祉保健計画実行委員、連合自治会
民生委員児童委員、保健活動推進員、女性地域安全委員



単位自治会

さまざまなサークル、シニアクラブ、サロン、子供会、自治会のつどい、新年会、ハイキング、納涼祭、公園清掃、見守りパトロールなど地域活動が行われています。

瀬谷第四地区社会福祉協議会の活動紹介

第四地区地域福祉保健計画の策定までの歩み



各種委員参加による拡大実行委員会にて、策定を進めました

よんたくん広場（小学生対象） 地域みんなで子どもの健全な育成をはかります



皆でカレーを食べました



地域の方が先生になります



8月には花火をしました

地域活動フォーラム：誰もが活動に参加する地域づくり



見守りサポーター

子育て支援活動：“ゆうスリー”



芋ほり会 H29.7.1



ゆうスリーの遊び場



楽々金曜日

楽しいお茶のみ会



せやまる・ふれあい館
パトロール

配食サービス・はあとの会



会食会



二ツ橋公園体操

女性のボランティア研修会



かわら版

地域福祉保健計画を知ろう

「福祉保健計画ってなあに？」と思う方が多いでしょうが、実は・・・
私たちのまちを良くするための《暮らしやすいまちづくり計画》です。



第1期計画（H18～22）では、**高齢者サロン**やこどもの遊び場**フレイパーク**ができました。
第2期計画（H23～27）では、地域の助っ人【**みなみせやサポーターズ**】が誕生し、あいさつ運動で**あいさつ♡いっぱい♡みなみせや**の合言葉が地域に広がりました。

そして、第3期計画（H28～32）現在・・・

合言葉の【**みんなで育てよう**】を実現するため、
活動を推進する『**組織の見直し**』に取り組んでいます!!

来年4月には**リニューアルした体制で活動を開始できるよう**
組織工事中です!!

只今組織
工事中!



第3期計画の合言葉

「**みんなで育てよう**
暮らしやすいまち
みなみせや」

って、バスの放送で
言ってるよ!



りんごの木は南谷地区の
【**第3期地域福祉保健計画**】
をイメージしたものです。

🍏は、南瀬谷地区で
できたらいいな、と思う
事です。たくさんのりん
ごが地域に実るようにみ
んなで育てましょう!



あいさつ♡いっぱい♡みなみせや

地域の助け合い

支え合い

地域や道路の清掃

夏まつりのゴミステーション

集積所や資源ごみの管理

ハイツのゴミ回収



公園の清掃



福祉バザー

配食サービス



高齢者サロン



給食会



プレイパーク



配食サービス



スポーツフェスティバル

顔の見える関係づくり

ラジオ体操

スポーツフェスティバル

インディアカ大会

ウォーキング

安心・安全なまちづくり

登下校時のみまもり

防災拠点運営委員会

防災訓練

防犯パトロール

防犯灯管理

防災訓練



パトロール



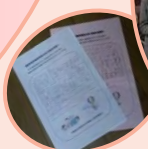
あって～南瀬谷



いざ!ともくん



高齢者福祉大会



共同募金・年末助け合い募金

人とのふれあい♥支え合い♥顔見知り

助け合い



自治会の防災倉庫



新年祝賀会

福祉を進めるまちづくり

バス研修旅行

夏祭り

新年祝賀会

社会を明るくする運動

あいさつ運動



情報誌



夏祭り



あいさつ運動作品展



あいさつ運動ミニのぼり



高齢者サロン

かわら版

第3期地域福祉保健計画の取組内容

平成29年度 宮沢地区社会福祉協議会

「水と緑のまちづくり宮沢」の福祉計画の進捗状況をご報告いたします。

この計画の推進には、宮沢連合自治会、宮沢地区社協、宮沢地区民児協の三者からなる運営委員会を立ち上げ、委員会の名称を「宮沢まちづくり推進委員会」と決めて今迄に9回の委員会を開催しております。

主なものは、「公園の通称名」を決めて誰にもやさしいまちづくりを目指しています。

例えば、連合のサマーフェスタ開催でおなじみの宮沢町第四公園を「松林公園」としたり、宮沢プールのある宮沢町第二公園を「プール公園」とするなど親しみやすい名称に決めました。今後は、関係機関と交渉の結果新しく立て看板を設置するなど予定しております。

敬老長寿のつどいを開催



宮沢保育園及び瀬谷保育園の園児たちが先生と共に「荒馬踊り」を太鼓に合わせて元気一杯に踊ってくれ、会場が一体となり「ラッセ♪ ラッセ♪ ラッセラ♪」と掛け声をかけて大いに盛り上がりました。

広報紙「心のせて」を年3回作成発行し、全所帯配布するなどして地区社協の活動内容を地域の皆様にお知らせしています。

第58号 平成29年1月号
宮沢地区社会福祉協議会
発行人：堀川 愛一郎

心のせて

新年あけましておめでとうございます。
宮沢地区社会福祉協議会 副会長 小島 進

皆様方には お慶びに 簡単なお返しのこととお慶び申し上げます。
旧年中は、宮沢地区社会福祉協議会に対しご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
昨年とは「瀬谷第三期地域福祉保健計画-地区別計画」が新たにスタートし、宮沢地区社協と宮沢連合自治会・宮沢地区民児協が中心となり「水と緑のまちづくり宮沢」の実現を目指した取り組みを進め、「誰にもやさしいまちづくり」の一環として地域住民の思いの場である公園に、親しみやすい通称名を付けることとしました。
今年度については、高齢化社会における災害対策として、緊急サービスやサロン活動などの見える関係づくりの充実を図るとともに、昨年発生した熊本地震災害を教訓に、災害被害・障害者を含めた避難訓練や避難所開設等について、より連携を促すための音響機器に向けた取り組みも進めてまいります。
しかしながら、こうした取り組みは地域の皆様のご協力なくして達成することはできません。つきましては、第三期地域福祉保健計画「水と緑のまちづくり宮沢」の実現を目指した第一歩として、健康促進イベントや各種サロンの開催にも参加のもと、皆様のお力を生かしたボランティア活動への参加を心よりお待ちしております。

平成28年度社会福祉功労者表彰受賞者
おめでとうございます！！ (敬称略)

- ★宮沢地区社会福祉功労者表彰
 - 村人の里「水曜 女子会」
 - 読者の里「宮沢女性会」
 - 棋友会、福地 心也子
- ★瀬谷市社会福祉大会
 - 民生委員少年活動指導所青少年教育委員
 - ボランティア活動功労者表彰「ほーとこまのりあい」(代表者：山田 崇)
 - 瀬谷市社会福祉協議会功労者「スマイル」(代表者：山田 崇)
 - 地区社会福祉協議会副会長長島恵「宮沢地区社会福祉協議会」(会長：堀川 愛一郎)

第58号 平成29年1月号

第59号 平成29年5月号
宮沢地区社会福祉協議会
発行人：堀川 愛一郎

心のせて

宮沢地区社会福祉協議会総会が行なわれました。
五月七日(日)午前11時から瀬谷小ホールミキスタにおいて、平成29年度宮沢地区社会福祉協議会総会が役員及び職員を含む44名の出席で開催されました。元来は、瀬谷区行政推進課課長、岡崎南・瀬谷文化館副館長、民権福祉推進小川職員、瀬谷地区社会福祉協議会常務委員長、志藤謙司、二ツ橋ヤブアキ子山本孝賢、平賀平次次郎コーディネーター、宮沢連合自治会代表の出席で開会しました。
議案により、平成29年度事業計画と予算は承認案を承認しました。また、選挙の激戦区が実現して喜ぶことになりました。

第三期宮沢地区地域福祉保健計画
「水と緑のまちづくり宮沢」を
社協と連合自治会が連携してつくみましょう！
宮沢地区社会福祉協議会 会長 堀川 愛一郎

平成29年度宮沢地区社会福祉協議会総会が、多数のご賛成の方を蒙り、地域でご活躍の町内会・自治会長さんをはじめ、給食会や町会等、サロン等がご協力な地域福祉協議会を助けていただいているボランティアの皆さんが出席し、無事開催されました。
宮沢地区の高齢化率は瀬谷市瀬谷区の高齢化率を上回っており、年々増えている災害の発生率にもなっています。したがって、避難も山積しており地域福祉の果たすべき役割が重要視されてきております。みんなで、一緒に「誰にもやさしいまちづくり」からお互いさまの気持ちで支え合い、荒馬のまちづくりをしよう！
「誰にもやさしいまちづくり」を基本理念とし、第三期宮沢地区地域福祉保健計画が展開し、暮らしやすいまちづくりの計画の中心と地区別計画も、昨年4月にスタートして2年目を迎えました。宮沢地区では地区別福祉推進委員会が今年度「宮沢まちづくり推進委員会」を設置して、災害対策、①地域での健康づくり、②地域活動と見守り体制の充実、③誰にもやさしいまちづくり、④地域での健康づくり、「水と緑のまちづくり宮沢」の計画に備わっていることです。
①にもやさしいまちづくりの一環として、よりよい宮沢地区内の公園に誰にも分かりやすい場所を作り取り進められています。具体的には、宮沢第二公園は「プール公園」、宮沢第三公園は「松林公園」、宮沢第四公園は「民権公園」、宮沢第五公園は「くも風の森公園」とするようになり、昔ながらの通称名を付けていまいきまづりを目指しています。②災害対策についても、防災マップづくりや地域防災隊のあり方についても検討が進められています。
宮沢地区社会福祉協議会と宮沢連合自治会が連携して、誰もが安心・安全にいつまでも住み続けられる地域を「暮らしやすいまち」を実現してまいります。また、宮沢地区のまちづくりも、全体的なまちづくりも進めてまいります。みなさんのお力を御礼申し上げます。お問い合わせは、

第59号 平成29年5月号

第60号 平成29年10月号
宮沢地区社会福祉協議会
発行人：福田 愛一郎

心のせて

平成29年度「敬老長寿のつどい」が開催されました。
九月三日(月)は祝日である中、午前10時から瀬谷小ホールにて敬老長寿のつどいを、会場には宮沢地区民児協、瀬谷地区民児協の両方から児童・生徒が参加し、また、今日社会福祉系学生ボランティアセンターでのボランティア活動も実施されました。この行事は今年度の第一歩が本日の行事で披露されました。続いて「宮沢まちづくり推進委員会」の発足式が行われ、出席者も掛け声をかけて大いに盛り上がりました。最後に瀬谷中学校吹奏楽部の素晴らしい演奏も披露されました。

敬老長寿おめでとうございます 宮沢連合自治会 会長 千枝

敬老長寿をお慶びの言葉をお返し申し上げます。いつも宮沢地区の行事に携わっていた、たいへんお世話になります。
今年度の「敬老長寿のつどい」の開催は、台風18号の日本列島で心配されたが、無事に済むことが出来大変一安心です。心よりおめでとございます。70歳以上に上のお慶びです。人は約1万人の参加人数でしたが、本日で宮沢地区では、1,100人が敬老長寿を迎えられています。これは、宮沢町内を合わせた人数ですが、含む1,200人～1,300人近いイベントと考えています。なお、100歳を達成して迎えた方が宮沢町に一人はいるといわれています。本日はおめでとございます。
今年度は、ボランティアで社会を明るくする運動の瀬谷地区コンテストで区長賞に輝いた宮沢地区の中学生の「希望あふれる未来」の作文を賞状していただきました。今年度第一歩の行事です。高齢者にやさしいまちづくりの推進に貢献してまいります。ご協力ありがとうございました。
また、「福の森」の宮沢地区福祉推進委員会が主催する「宮沢地区」を、高齢者「長寿」の仲間と一緒に「長寿のつどい」を開催し、参加の人数も一緒に増えて「あいらびい」のまちづくりを推進してまいります。また、「あいらびい」のまちづくりを推進してまいります。これからは、お返しをさせていただきます。お問い合わせは、

第60号 平成29年10月号

第3期福祉保健計画の取り組み
「水と緑のまちづくり」のさらなる前進を目指しています。

① 地域福祉講座の開催により障害者への理解を深めました。



グループホーム見学会



障害者の理解講座



ひまわり給食



② 地域サロンの充実

ほっとサロンゆうあい



サロンふらっと宮沢



ゆうぎりサロン



歌声ラウンジ宮沢



いきいきシニア宮茶話会



子育てサロンえむ



③ 見守り体制づくり

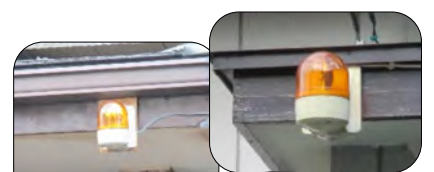
防災グッズ
安心くんの配布



配食による安否確認



緊急通報装置の設置



Kさん宅

Sさん宅

相沢地区かわら版

平成29年10月 相沢地区社会福祉協議会

～「地域で生活するすべての人が 安心して生活できるまちづくり」

をさらにすすめます～

相沢地区の第3期計画（平成28年度～32年度）は、第2期計画の活動や事業に加え、これらをさらに拡充する活動や事業を展開しています。

<相沢地区で継続して取り組まれている活動・事業>

配食サービス「火曜の会」（一人暮らしの高齢者の支援）



サロンⅠ



毎月第1～第4火曜日に配食
平成28年度の配食数：1589食

毎月第3木曜日、相沢原
団地集会所）にて開催
平成28年度の参加者：
300名

相沢ふれあい食事会（一人暮らしの高齢者への支援）

サロンⅡ



食事会委員と友愛活動員の協力により、第一～第四町内会と第五～第八町内会それぞれ年各3回瀬谷地区センターで開催
平成28年度の参加者：392名

わいわいおやこ会（子育て支援）



毎週第4金曜日（相沢公会堂）にて開催
平成28年度の参加者：
243名

ふれあい体操の会（高齢者介護予防のため）



毎月第1、第3水曜日に相沢公会堂で
16名のグループにより「体操の会」
を開催

民児協主催により、毎月第4木曜日（8・1月を除く）相沢公会堂において開催
平成28年度利用者：
481名（227組）

一隣近所のさりげない見守りによる地域づくり一

「隣近所のさりげない見守りによる地域づくり」推進委員会（委員9名）を平成25年5月に設置し、26年3月「隣近所のさりげない見守りによる地域づくり」計画書をまとめました。以降、相沢町内連合会、各町内会のご協力により、この地域づくり計画を連携して推進しています。全世帯配布、班単位回覧、掲示板による広報に取り組んでいます。

今年3月には、「大災害時！隣近所で助け合いましよう！！」のチラシ（A4両面カラー）を全戸配布し、大災害時に自分と周りの人々が生き残るすべを学び、隣近所がお互いに助け合うことが必要であり、それには日頃のお付き合いが大事であることを訴えました。

一「こんにちはチーム」による見守り一

「こんにちはチーム」（平成23年7月結成、現在14団体・約250名）により声かけ・見守り運動に取り

組んでいます。年1回「こんにちはチーム」の情報交換会を開催します。

その内容は、広報「こんにちはチームだより」（第1号～第4号発行）として発行し、メンバーに配布しました。

一健康保健講座の開催一

保健活動推進員の主催により、「健康保健講座」を開催。

- ・28年度：「AED取扱い講習会」（参加者：62名）
「災害時の健康」（参加者：29名）
- ・29年度：「認知症治療の現状とケア」（参加者：48名）
～健康な老後を過ごそう！～

一生活支援「相沢助け合いの会」の開設一

地区内の高齢者の生活支援活動の一環として、平成26年末に「相沢助け合いの会」と名称が定まり、今後、正式に開設する予定です。

<新たに取組みされている活動・事業>

一障害のある方たちとの交流の場をつくる一

今年2月、相沢公会堂において、相沢地区社協役員、こんにちはチーム参加団体の各代表、見守り推進委員を対象に、“せやまんなるねっと”による「障がい理解出前講座」を行いました。「障がい」とはどんなことか、障がいのある方とのコミュニケーションの取り方などを勉強しました。

7月に開催された「相沢ふれあいのつどい」において、車椅子でボッチャ体験と施設の作業体験のコーナーを設け、交流を図りました。

「さりげない見守り」と「あいさつ」を！

相沢地区では日頃の挨拶やさりげない見守りにより、安心して生活できるまちづくりをすすめています。隣近所から町内、地域への輪をつなぎ、災害時の支えあいにもつながりましょう。

「あいさつ」を積極的に！

まずはご近所さんや町内の方に積極的に挨拶しましょう。「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」など、日頃から気軽に挨拶しましょう。

「声かけ・見守り」はさりげなく！

隣近所の方には日頃から声かけを心がけ、何か異変に気づいたら、声かけやご連絡をお願いします。声かけや見守りは、見張りではありません。お互いにさりげなく気がかけ、何かあったと感じたら、声をかけたり、町内会役員や民生委員にご連絡ください。郵便物がたまっている、雨戸が閉まったまま、などご注意ください。

子どもたちの見守りもよろしく！

登下校時の交通安全や巡回パトロール等、子どもたちの安全・安心な守り、よりよいまちづくりにご協力をお願いします。



見守り推進のパネル



健康保健講座



障がい者スポーツ体験（ボッチャ）



施設の作業体験



【お問い合わせ】

横浜市瀬谷区福祉保健センター福祉保健課運営企画係

TEL 045-367-5702 FAX 045-365-5718

社会福祉法人横浜市瀬谷区社会福祉協議会

TEL 045-361-2117 FAX 045-361-2328

瀬谷区地域福祉保健計画ホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/seya/torikumi/fukushi/keikaku3.html>